

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

<p>研究課題名</p> <p>DICOM radiation dose structured report を用いた冠動脈 CT 撮影プロトコルにおける被ばく線量評価</p>
<p>1. 研究の対象および研究対象期間</p> <p>2019 年 5 月 1 日から 2019 年 8 月 31 日までに冠動脈 CT を施行した患者</p>
<p>2. 研究目的・方法</p> <p>近年、医療放射線被ばくの適正管理のあり方について、厚生労働省より管理指針が示されました。その指針の中で、被ばく線量の記録方法が示されており、DICOM 規格の線量レポート DICOM radiation dose structured report (DICOM RDSR) を用いるよう推奨されており、当院でも導入され、臨床に用いられています。日本の CT 検査による医療被ばくは、世界第 1 位であり、X 線撮影条件の最適化および線量管理の重要性は極めて高く、その中でも冠動脈 CT 検査は、従来より他の撮影部位と比較し、被ばく線量が多いことが問題視されています。当院の冠動脈 CT 撮影方法は、患者心拍数・BMI・既往歴によりそれぞれ撮影プロトコルが異なります。そこで今回、DICOM RDSR からデータを抽出し、診断参考レベルに準じたプロトコル別被ばく線量の評価を行うことを目的とした本研究を実施いたします。</p> <p>研究期間</p> <p>医学研究科人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、病院長の研究実施許可を得てから 2019 年 8 月 31 日まで</p>
<p>3. 研究に用いる試料・情報の種類</p> <p>2017 年 4 月 1 日から 2019 年 8 月 31 日に施行した冠動脈 CT の DICOM RDSR データ</p>
<p>4. お問い合わせ先</p> <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 放射線技術部 研究責任者：峯岸 健太郎

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8000(内線 8454)